

平成29年度 学校関係者評価報告書

大阪市立平野西小学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の自己評価結果は概ね妥当である。

運営に関する計画の最終評価や児童・保護者アンケートの結果から、学校が子どもたち一人ひとりにあった教育活動を進めていることがわかる。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【視点 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標

- 平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて解消した割合を95%以上にする。[前年度：93%] → **今年度：99%**
- 平成29年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。[前年度：81%] → **今年度：82%**
- 平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。[前年度：1] → **今年度：0%**
- 平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。[前年度：1.13%（7名）] → **今年度：0.16%**

学校園の年度目標

- ① 平成29年度末の校内アンケートにおける「学校に行くのが楽しい」の項目について、「とてもそう思う（だいたいそう思う）」と答える児童の割合を86%以上にする。[前年度：84%] → **今年度：80%**
- ② 平成29年度末の校内アンケートにおける「自分からすすんであいさつをしている」「人の話を聞いている」「学校のルールやマナーを守っている」の各項目について、「とてもそう思う（だいたいそう思う）」と答える児童の割合を86%以上にする。[前年度：「あいさつ」77%、「人の話」85%、「ルール」85%] → **今年度：「あいさつ」79%、「人の話」83%、「ルール」83%**
- ③ 平成29年度末の校内アンケート（保護者）における「学校は、PTAや地域、校外の人材・団体と連携し合って教育活動を進めている」の項目について、「たいへんそう思う（だいたいそう思う）」と答える保護者の割合を90%以上にする。[前年度：88%] → **今年度：85%**

- 達成状況の評価に関しては、概ね妥当である。

本年度は、「あひるの力」を重点とした生活指導によって、学習ルールを守る児童が前年度よりも多くなり、学校全体が落ち着きを取り戻したことや、授業にゲストティーチャーや専門家の支援を受け入れるなど、開かれた教育活動も実践できていることが評価できる。

年度目標：【視点 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標

- 平成29年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。[前年度：95] → **今年度：95%**
- 平成29年度の小学校学力経年調査における正答率5割4分以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。

前年度		3年	4年	5年	6年
児童の割合 (%)		12	14	17	22
今年度	3年	4年	5年	6年	
児童の割合 (%)	13	13	26	4	

- 平成29年度の小学校学力経年調査における正答率7割5分以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。

前年度		3年	4年	5年	6年
児童の割合 (%)		50	54	42	50
今年度	3年	4年	5年	6年	
児童の割合 (%)	51	45	40	61	

- 平成29年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 [前年度：61%] → **今年度：62%**

- 平成29年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題であるシャトルランの平均の記録を、前年度より10ポイント向上させる。

[前年度：男子46回・女子33回][前年度：男子26回・女子22回] **今年度：男子58回女子39回**

学校園の年度目標

- ① 平成29年度末の校内アンケートにおける「学校の勉強がよくわかる」の項目について、「とてもそう思う（だいたいそう思う）」と答える児童の割合を87%以上にする。

[前年度：85%] → **今年度：81%**

- ② 平成29年度末の校内アンケートにおける「運動場でよくあそんでいる」の項目について、「とてもそう思う（だいたいそう思う）」と答える児童の割合を71%以上にする。

[前年度：68%] → **今年度：71%**

- ③ 平成29年度において、医療機関を受診した校内での事故の件数と、全児童による欠席総日数を、前年度より減少させる。[前年度：68件/3,873日] → **今年度64件/3282日（2月22日現在）**

- 達成状況の評価に関しては、概ね妥当である。

小学校学力経年調査において、第6学年に関しては正答率が全体的に前年度よりも上昇している点は評価できる。一方で第3、4学年の正答率を上昇させることが今後の課題である。全国体力・運動能力運動習慣調査において、シャトルランの記録が大幅に向上した。運動場でよく遊んでいる割合が上昇したことと一定の相関性が認められる。外遊びを推進し、体力作りの指導を徹底したことは評価できる。

年度目標：【視点 その他】

- ① 平成29年度末の校内アンケート（保護者）における「学校は、子ども達にわかりやすい授業づくりに努めている」の項目について、「たいへんそう思う（だいたいそう思う）」と答える保護者の割合を、前年度より増加させる。 [前年度：87%] → **今年度：87%**

- ② 今年度末の校内アンケート（保護者）における「学校への満足度」の項目について、「たいへん満足している（だいたい満足している）」と答える保護者の割合を、前年度より増加させる。

[前年度：87%] → **今年度：92%**

- 達成状況の評価に関しては、概ね妥当である。

校内アンケート（保護者）における「学校への満足度」の項目について、「たいへん満足している（だいたい満足している）」と答える保護者の割合が増加している点は評価できるが、95%を超えていないため、引き続き努力を要する。また、子ども達にわかりやすい授業づくりについて、前年度と変わらないため、引き続き研究授業等の研修を通して、わかりやすい授業づくりに励む必要がある。

3 今後の学校運営についての意見

年6回実施の土曜授業や運動会等、開かれた学校づくりを推進していることは評価できる。また、生活指導面での取り組みも評価できる。次年度以降も引き続き、今年度同様に学習面、生活指導面ともに取り組みを継続していただきたい。